



ASAHIKAWA PROBUS CLUB · SINCE 2005

旭川プロバスクラブ

絆（きずな）

旭川プロバスクラブ
会報 第200号
発行 2022年2月
会長 中田雅昭
幹事 今津寛介

— 2月FAX例会 —

ごあいさつ

会長 中田雅昭

こんにちは！ 皆さま方お元気でお過ごしでしょうか。

冒頭からコロナ関連のお話になって申し訳ないですが、昨年暮れ12月には旭川の1日の感染者数も一桁台まで落ち着いて明るい兆しが見えるかなと思っていましたが、この2月になって1日の感染者数も3桁台と毎日どこかでクラスターが確認され、一体どこまで続くの？これからどうなるの？ という気持ちは皆さん一緒でしょうかね～。ココはあきらめて、今までとおおり感染対策をしっかりとって過ぎ去るのを待つしか無いですね！

さて、2月に入って例年だと、雪の降る街をコンクールはこちらも昨年に続き中止とのことですが、この時期に合わせて井合会員が代表をしている雪の降る街を写真コンクールが「ななかまど文化賞」を受賞

され、誠にありがとうございます。本来であれば祝賀会を開いてお披露目をしたところでしょうけど、昨今の事情からすると先延ばしでしょうか。いずれにしても、受賞おめでとうございます。

そして、当プロバスクラブも今月の例会が、第200回例会を開催することになります。こちらも本来でしたら紅白のお餅を配ったり集合写真を撮ったりと記念事業をするところではありますが、事情を察して頂ければと思います。

立春を過ぎて暦では春です。春に向っているとはいえこの時期の寒さが一段と厳しいですが、今シーズンの旭川は雪が少なく雪かきしなくて良い分だけでもホントーに楽ですね。私の所でも家の周りやビニールハウスの周辺の除雪だけでも機械でするとは言え、丸一日かかりますが、今シーズンはそれも無く終わりそうです。今月中頃からはタマネギの種まきが始まってすっかり春です。

待ち遠しい春まではもう少しです、皆さま方体調には十分ご留意されお過ごし下さい。

今月は 親睦交流委員会の皆様です

「2つの教え」

佐々木 康子

私が起業したころは二刀流の起業家は大変珍しく、迷いがありました。

そんな気持ちを吹き飛ばしてくれたのは、母の一言。「海外の起業家は常に新しいことを取り入れて自分のビジネスに構築を重ねて成長していく。たった二つくらい両立できないなら辞めてしまいなさい。20年後には日本もそうなるから。」

20年を経て、ピアノ指導者として、コーヒー焙

煎士として、どちらか一つを選択せず良かったと思えるのは、全く異なる二つの世界にそれぞれの面白さがあるから。

田舎に住んでいた幼少期、毎週電車に乗って母と旭川へ。最初の一件目はまずは喫茶店。季節を問わず熱い黒い飲み物を美味しそうに飲む母。私はパフェのほうが美味しいのにといつも思っていた。必ずスプーン一杯の珈琲を飲まされた。店によって味が違うこと、カップによって酸味が強く感じること、保温されていないカップに注がれた残念なコーヒの味など。

母からの最近のオーダーは珈琲に合うコーヒー。究極です。

「with コロナ」

上田 司

皆さま、ご無沙汰しております。お元気でお過ごしでしょうか。

ご存知の通り、私たちイベント業界も飲食店と同様、コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止などで大打撃を受けています。

そんなコロナ禍なのですが、需要が増えているのが、オンラインによる配信や収録などの映像業務です。LEDディスプレイを使用したドライブインシアター（車の中からの映画鑑賞）、今年の市長選では、社内のスタジオから「旭川まちづくりフォーラム」をライブ配信、2/6（日）には「RAV Vast SAYO 配信ライブ」などを開催してまいりました。

3年ほど前から導入した映像機材や配信設備、そして今までお付き合いいただいていた方々からのご縁もあり、With コロナでも開催可能な業務が少しずつ増えてきました。

とはいえ、やっぱり会場に足を運び、皆と出会えるリアルイベントの開催を待ち望んでおります。

また皆さんともお会いして、楽しい語らいができる日を楽しみにしております。

「後期高齢者のひとりごと」

鈴木英之

人生50年と言われてから今や憲法9条によって戦争のない日本、100才時代も見え、私も後期高齢者になりました。

20代には学生運動に、そして東京の商社に入社、今は苦しくても10年後には社会の為に理想を持たせた時代の感謝、希望のフロンティアから破綻国家に向かわせる訳にいかないと思い、微力ながら30数年振りにペンを握りました。

今のこの国のタテ社会、政治の貧困から非正規、派遣社員、障害者年金、生活保護者より少ない国

民年金生活者、15才未満12%世界最低の人口比率の若者、その若者の未来、勇気、団結が失われてきた事にテレビ、新聞報道の正義感、勇気が見えてこない。やっと今、若者の教育レベルが上がり始めたからこそ、未来の大企業の財界リーダー、国政リーダーからこの国の未来のリーダーが現れこの国を変えて欲しいと、情けない今の私達世代が強く願っています。

追伸 2月18日に認知機能検査（高齢者講習）に行きます。毎日他人と5人以上会話をすると認知症にならないと信じています。

「ステンレス・ピカピカ!」

高橋千鶴子

皆さんお元気ですか？ 機嫌よくお過ごしですか？ どの年代もそうですが、生活の規制・自粛はキツイですねえ。特に私達世代、1日1日が貴重極まり無し。

私の職種は一向に回復の兆し無しですが、しょぼくれているのはコロナに負ける！ 昨夏から腹くくってやりましたよ～。

「断捨離・自主トレ・家庭菜園・料理しまくり・本読みまくり・妄想旅行・・・」

お陰様で家中の大型ゴミを噂の江丹別処理場に持ち込み廃棄。台所のステンレスはいつもピカピカ[☆]・ジム退会し自主トレで waist -6cm。MCはこれからも天職ですが、「世の中何が起こるかわからない・思いは叶えるべし!」念願の料理のスタジオを、固定概念・こだわり・理想を下げて下げて・・・「実現する事に特化」して、神居の自宅を改装して始めます。諸々動くと言いますが、コロナは背中を押してくれました。

「父のエピソード」

高橋紀博

私の父は、昨年9月、享年87歳で生涯をとじました。母から聞いた父のエピソードをお話します。父の仕事は土木一筋でありましたので、特に夏は現場

中心となって家には居ない方が多い生活でした。

若い時、親しくしているご近所さんに不幸があり、そのことを伝えるために母が「現場の父に連絡をとりたい」と会社に電話をすると、父の上司は「そんなことで」と取り合ってくれず、帰ってきた父に話すと、父は大変憤慨して社長に話したそうです。すると社長は、翌年の新年会の席で「うちの会社は家族を粗末にする会社ではない」とその上司を全社員の前で土下座をさせた事があると、父が亡くなって母から聞きました。

父の葬儀の時、3名の方が私の前に来て、直立姿勢で「私達はお父様の部下でした」と言い、涙を浮かべて棺の中の父に語りかける方がいらっしかったです。

私から見ると、お節介になっていないかと心配になるほど人当たりが良く、世話好きな父でした。

「コロナ禍の過ごし方」

西坂 恵理

皆様、ご無沙汰していますがお元気でしょうか？

またもや蔓延防止措置になってしまい、集会・例会が中止になり私ども飲食店では休業も余儀なくされています。

しかし、落胆ばかりもしてられないので有意義な時間の使い方をしたいと思います。

先日の道新に掲載されていましたが、コロナ禍で新しい趣味を始めた人が46・4%いるそうです。

テレビ・ネット動画等の視聴20.8%、ゲーム、料理などが続き、サウナ9.6%、楽器演奏、音楽制作6.5%という回答です。

私もコロナ前から50の手習いでピアノを始めました。プロバスの例会で、ヤマハの増村さんとの雑談の中で「ピアノに興味があるんです」という話に無料体験を教えてください、そのまま入会しました。もう3年目になりました。「エリーゼのために」は1年かかって暗譜で弾ける様になりました。

ピアノと楽譜さえあればお金もかからず家で出来

る趣味なので、生涯のライフワークにしたいと思えます。

プロバスでの素敵な出会いに感謝しております。

今年こそは皆さまとお会いできます様に。

「コロナと書道」

日隈 利穂

一昨年の夏頃からコロナの影響で少し時間に余裕ができ、実はひそかに書道を始めていました。人に腕前を披露するようなレベルではなく、楽しんで書くことを目的にやっていたのですが、昨年末からどうにも気分が乗らず、筆を手にとることもしませんでした。

そんな中、あるサークルの新年会に参加しましたら、書初めをするとのことでした。皆さんで思い思いの字を書くのですが、中には、「終息」「平穩」「健康」「笑顔」なんて字を書く方もいて、マスク越しですがたくさんの笑いと笑顔があり、和気あいあいと自由に字を書くところなのに楽しいと気付かされました。

その後、また意欲が湧き、空いた時間に字を書き始めたのですが、以前とは違う何か新鮮で自由な気持ちで筆を持つことができました。「今年の自分は一味違うぞ。」と気合いが入りましたが、字が下手なのは変わりませんでした。

各地プロバスクラブの動向

全日本プロバス協議会のホームページ「会員クラブ交流コーナー」で各地プロバスクラブの会報を紹介。旭川も前号から掲載されました。

検索エンジンで「全日本プロバスクラブ」を検索するか、<https://www.all-japan-probus.com/> を直接ブラウザにご入力ください。トップページ右上「スマホはハンバーガーメニュー(≡)をタップして」「会員クラブ交流コーナー」から開けます。

「大阪プロバスクラブ関西ブログ」も併せてご確認ください。<https://probuscent.exblog.jp/>